

専修大学商学研究所所報

(令和6年2月15日現在)

1 運営

- (1) 第1回定期所員総会 (所員数68名・出席者16名・委任状26)
令和5年5月23日(火)13:05~13:50
専修大学神田校舎1号館M501教室・(Zoom)
- 令和4年度事業報告ならびに会計報告(承認)
 - 令和5年度事業実行計画案(承認)
 - 令和5年度実行予算案(5,838,412円)(承認)
【人事課移管分人件費(アルバイト料)1,076,588円】(承認)
 - 令和5年度所員名簿案(承認)
 - その他

- (2) 第2回定期所員総会 (所員数68名・出席者15名・委任状30)
令和6年1月30日(火)13:30~14:30
商学研究所(神田校舎1号館12階)・(Zoom)
- 令和5年度事業中間報告(承認)
 - 令和6年度事業計画案(承認)
 - 令和6年度予算要求案(承認)
 - 令和6年度予算要求明細案(承認)
 - 所長選挙
 - その他

- (3) 運営委員会(6回開催)
- 令和5年4月18日(火)12:20~13:00
商学研究所(生田校舎生田分館5階)・(Zoom)
第1回運営委員会(12名)
 - 令和5年5月23日(火)12:20~13:00
専修大学神田校舎1号館M501教室・(Zoom)
第2回運営委員会(14名)
 - 令和5年8月1日(火)12:20~13:00
商学研究所(神田校舎1号館12階)・(Zoom)
第3回運営委員会(10名)
 - 令和5年11月7日(火)12:20~13:00
商学研究所(神田校舎1号館12階)・(Zoom)
第4回運営委員会(12名)
 - 令和5年12月19日(火)12:20~13:00
商学研究所(神田校舎1号館12階)・(Zoom)
第5回運営委員会(14名)
 - 令和6年1月30日(火)12:20~12:45
商学研究所(神田校舎1号館12階)・(Zoom)
第6回運営委員会(11名)

2 研究活動

(1) 定例研究会

- 第1回定例研究会(8名)
日時:6月6日(火)13:05~14:35
会場:神田キャンパス10号館ゼミ1012E
報告者:斎藤大河
テーマ:「不完備市場における均衡とライフサイクルインベストメント、再保険への応用」
- 第2回定例研究会(8名)
日時:9月12日(火)13:05~14:35
会場:ZOOMによるオンライン開催
報告者:小林 守
テーマ:「コンサルタント業界のプロジェクトマネジメント」
- 第3回定例研究会(8名)
日時:10月17日(火)13:05~14:35
会場:神田キャンパス10号館ゼミ1012F
報告者:尾木研三
テーマ:「クレジットスコアリング(AI審査)モデルの高度化と実践」

- 第4回定例研究会(7名)
日時:11月21日(火)14:50~16:20
会場:神田キャンパス10号館ゼミ1012F
報告者・テーマ:富川理充「コロナ禍のオンライン授業と大学教養体育の教育効果」
佐藤由美「商学部の教職カリキュラムと履修状況」

- 第5回定例研究会(8名)
日時:12月19日(火)14:50~16:20
会場:神田キャンパス10号館ゼミ1012F
報告者:金 鐘勲
テーマ:「日本企業のインプライド資本コストの推定と応用」

- 第6回定例研究会(5名)
日時:1月16日(火)13:05~14:35
会場:神田キャンパス10号館ゼミ1012F
報告者:張 堯埼
テーマ:「消費者行動における言語抽象性の研究」

- 第7回定例研究会【会計学研究所共催】(18名)
日時:2月6日(火)13:45~14:45
会場:ZOOMによるオンライン開催
報告者:池田宏史
テーマ:「高等学校における商業教育の現状と課題」

(2) 公開シンポジウム

1. 専修大学商学研究所主催公開シンポジウム(参加人数83名)
開催日時:令和5年9月30日(土)13:00~16:00
開催形式:専修大学神田校舎10092教室及びZoom配信によるハイブリッド形式
メインテーマ:「持続可能な地域社会の形成に向けた企業・組織のかかわり・つながりー中山間地域と離島のSDGs未来都市に注目してー」
プログラム:
13:00~13:05 開会挨拶
岩尾詠一郎(専修大学商学部教授・専修大学商学研究所長)
13:05~13:10 シンポジウムの概要
大崎恒次(専修大学商学部准教授・PJリーダー)
13:10~13:20 PJ調査概要 岡田 稔(専修商学部大学教授)
13:20~13:50 報告①「『里山資本主義』真庭の挑戦」
古南武永(岡山県真庭市総合政策部総合政策課)
13:50~14:20 報告②「沖縄県のSDGsの取組」
平良秀春(沖縄県企画部企画調整課SDGs推進室)
14:20~14:50 報告③「石垣島の高校生と島内外の大人でつくる新たな学び舎“石垣市公営塾”と、地域コミュニティ通貨まーるの取り組み」
住吉 優(元石垣市公営塾塾長)カヤックゼロ取締役)
(休憩)
15:00~15:58 パネルディスカッション
コーディネーター:大崎恒次(同上)
パネリスト:古南武永(同上)・平良秀春(同上)・住吉優(同上)
岩尾詠一郎(同上)
八島明朗(専修大学商学部准教授・PJメンバー)
15:58~16:00 閉会挨拶 岩尾詠一郎(同上)

2. 専修大学商学研究所主催公開シンポジウム(参加人数26名)
(共催:アジア市場経済学会)
開催日時:令和5年10月7日(土)13:30~17:00
開催場所:専修大学神田校舎7号館3階731教室
開催目的:ITや製薬の領域では、インドは少なくとも30年来、世

界のトップランナーの1国であることが知られるが、遠い国であるとの印象を持つ企業人は少なくない。2023年半ばには人口で中国を抜き世界最多になることが確実視され、インド太平洋地域の安全保障環境においても重要度が増すインドの動向に目が離せない

プログラム：

13：30 開会ごあいさつ

岩尾詠一郎（専修大学商学研究所長・専修大学商学部教授）

13：35～14：20 基調講演1「インドとの協力によるサプライチェーンの強靱化」

演者：福岡功慶（経済産業省通商政策局政策企画委員，前通商政策局南西アジア室長）

（5分間休憩）

14：25～15：10 基調講演2「インドの先端産業事例」

演者：小宮昌人（産業革新投資機構—ベンチャー・グロース・インベストメント株式会社プリンシパル／慶應義塾大学システムデザイン・マネジメント研究科研究員）

（5分間休憩）

15：15～16：55 パネルディスカッション

（15：15～15：30）登壇者紹介および「インド製薬企業の世界のプレゼンス」

ファシリテーター：高橋義仁（専修大学商学研究所員・専修大学商学部教授）

（15：30～15：50）課題提起「インドでのビジネス・ウーマンの経験」

演者：鈴木美優（元エン・ジャパン株式会社 海外新規事業担当）

（15：50～16：50）パネルディスカッション

登壇者：福岡功慶，小宮昌人，鈴木美優，高橋義仁ほか

16：50 総括とごあいさつ

藤岡資正（アジア市場経済学会会長・明治大学グローバルビジネス研究科教授）

(3) 研究プロジェクト

(A) 大崎チーム：大崎恒次 所員・岩尾詠一郎 所員・岡田稷 所員・八島明朗 所員

「持続可能な地域社会の形成に向けた中小企業・組織のかかわり：浸透・普及・継続への取り組みに着目して」

（予算：50万円）3ヵ年計画の3年目

(B) 神原チーム：神原理 所員・阪本将英 所員・福原康司 所員・泉貴久 氏

「システム思考にもとづくアクティブ・ラーニング—高・大・産連携による社会科学教育—」

（予算：50万円）3ヵ年計画の2年目

(C) 田島チーム：田島真弓 所員・池部亮 所員・小林守 所員・上田和勇 所友

「ステークホルダー型ガバナンスの現状と課題—アジアの異文化及び地政学リスクとソフトコントロール」

（予算：50万円）3ヵ年計画の1年目

(4) 国際交流

①国立台北大学社会科学部との共同プロジェクト

「デジタルエコノミーが若者のライフスタイルやビジネスのイノベーションに与える影響」の金融社会学フォーラムでイギリスや台湾の研究者とパネルディスカッションを行った。

日時：11月18日（土）16：00～17：40（台湾時間）

会場：台湾社会学会大会国立台北大学（台湾）

パネルディスカッション：「若者の投資行動と金融リテラシー」

パネリスト：Alex Preda（King's College London），田島真弓（専修大学），陳宇翔（国立台北大学），陳易甫（国立台北大学），劉仲恩（国立台湾大学），鄭力軒（国立政治大学）

3 刊行書籍

(1) 商学研究所報発行

第55巻第1号（令和5年8月） 上田和勇（300部）

「事例による個人のレジリエンス構成要因の共通要素に関する研究—レジリエンス要因はリスク，人，時代により変化するか—」
第55巻第2号（令和6年2月） 小林 守（300部）

「観光資産」におけるスコープマネジメントの適用—プロジェクトマネジメントの視点から—

第55巻第3号（令和6年2月） 山崎万緋・渡辺達朗（300部）
「EU・英国・フランスにおける環境政策の展開と影響—プラスチック関連政策と食品廃棄削減政策を中心に—」

第55巻第4号（令和6年2月） 石川和男（300部）
「商取引遺産としての「北前船」事業の展開と意義」

第55巻第5号（令和6年2月） 閻湜・渡辺達朗（300部）
「中国における社区團購の展開と変化—「社区」（コミュニティ）をベースにした生鮮食品 EC の特徴に注目して—」

(2) 専修ビジネス・レビュー発行

第19号（白桃書房，令和6年3月）（400部）

【論文】

石川和男「リテールマーケティング研究への道程（6）—リテールマーケティング組織における伝達すべき「知識」を探る前段階—」

上田和勇「個人と職場の Well-being 構成要因の共通要素に関する研究」

小藤康夫「人生 100 年を無事に生きる方法」
「なぜ私立大学は赤字でも存続できるのか—経営危機のシグナルと公立化戦略を中心として—」

阪本将英「国際課税ルールの新たな枠組みとその理論的整合性に関する課題提起—デジタル課税とグローバル・ミニマム課税を中心に—」

渡辺達朗・山崎万緋「戦時統制下における古書籍公定価格制と古書市場—雑誌整備と用紙配給に翻弄された神保町発信の『読書と文献』から読み解く—」

【研究ノート】

小林 守「プロジェクトマネジャーの能力開発をめぐる視点とアプローチ」

(3) 商学研究所叢書

叢書第23巻 小林守編著（白桃書房，令和6年3月）（100部）

『グローバル化と国際危機管理に関する諸問題—異文化リスクとパンデミックリスク—』

はじめに 小林 守

第一章 異文化問題と well-being 上田和勇

第二章 日本企業の海外建設プロジェクトと「異文化の壁」
—ビジネス小説家がみた実在のプロジェクトにおける異文化リスク— 小林 守

第三章 異文化リスクの調整メカニズムとしての労働市場仲人機能（LMI）
—東アジアのホワイトカラー人材の国際間移動— 田島真弓

第四章 米中対立とチャイナ・プラス・ワン
—グローバル・サプライチェーン再編とベトナム— 池部 亮

おわりに 小林 守

4 その他

所員数は、合計72名（内、準所員4名）